

令和元年6月7日
群馬県農業技術センター
環境部発生予察係(病害虫防除所)
TEL 0270-62-1059

令和元年度 病害虫情報 第1号

果樹カメムシ（チャバネアオカメムシ）の飛来に注意

1 果樹カメムシとは

果樹カメムシは、果樹の果実を吸汁し、果実の奇形や落下を引き起こします（写真1）。本県の最重要種はチャバネアオカメムシです（写真2）。

2 チャバネアオカメムシの生活史

落葉中で越冬し、温度の上昇とともに活動を開始します。その後、しばらくクワ、サクラ、キリ等様々な樹木の果実を餌に転々とします。この時、果樹園に飛来すると果実に被害が発生します（図1）。7月になるとスギ・ヒノキ林に移り球果を餌に繁殖します。しかし、餌である球果が少ないと、果樹園に飛来しリンゴ、ナシ等の果実に被害を及ぼします。

3 今年のチャバネアオカメムシの越冬密度

1～2月にチャバネアオカメムシの落葉中の越冬成虫数を調査した結果、平年より多く確認されました（表1）。

4 春先のフェロモントラップへの捕獲状況

5月下旬に急増し、7地点中5地点で平年を上回りました（表2）。チャバネアオカメムシは日没後から盛んに飛翔し加害することが知られています。特に夜間の最低気温が18℃を越えると飛来する可能性が高くなります。この時期は夜温が高く推移したため（高崎市上里見アメダス26～28日最低気温18℃以上）、活動が活発になり、飛来が増加したと考えられます。

5 今後のチャバネアオカメムシのトラップ捕獲状況

県内8地点（フェロモントラップ7地点、果樹予察灯1地点）で飛来状況を調査しています。最新の情報は群馬県農業技術センターホームページの病害虫発生予察情報一覧に掲載しています（<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>）。

6 防除対策および防除上の参考事項

- （1）チャバネアオカメムシの飛来状況は果樹園によって大きな違いが見られますので、発生状況に応じて防除を行ってください。
- （2）チャバネアオカメムシは夜行性のため、薬剤散布は夕方または活動の鈍い早朝などに行うと効果的です。
- （3）農薬の散布にあたっては使用基準を厳守するとともに、他の作物への飛散に十分注意し、周囲の生産者や住民等への周知を徹底してください。

表1 チャバネアオカメムシ越冬量調査結果（県内5地点平均 頭/m²）

平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	平年
0.6	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.2

表2 令和元年5月フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数（頭）

地点		1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	月合計
高崎市上里見町	本年	1	3	4	4	25	18	55
	前年	6	7	6	9	5	3	36
	平年	4.4	5.6	4.0	5.6	5.3	5.8	30.7
高崎市高浜町	本年	2	19	15	1	94	56	187
	前年	14	15	32	38	9	3	111
	平年	7.3	8.3	13.0	21.0	6.0	1.0	56.7
高崎市箕郷町西明屋	本年	3	1	0	2	1	2	9
	前年	6	3	3	0	1	2	15
	平年	2.7	2.6	2.3	1.6	1.4	1.8	12.4
渋川市渋川御蔭	本年	8	9	7	4	3	37	68
	前年	44	6	12	21	7	18	108
	平年	10.1	10.2	5.7	8.7	8.1	9.1	51.9
渋川市横堀	本年	1	3	2	0	12	11	29
	前年	3	2	1	3	4	5	18
	平年	1.9	1.5	1.9	2.6	3.4	5.7	17.0
沼田市井土上町	本年	0	0	0	1	2	2	5
	前年	5	6	0	2	3	1	17
	平年	0.6	0.8	0.5	1.5	1.8	2.0	7.2
中之条町折田	本年	2	0	0	1	23	13	39
	前年	4	3	5	15	6	8	41
	平年	0.8	0.5	1.8	5.6	7.0	5.4	21.0

※平年値は過去10年の平均値



写真1 被害果（ナシ）



写真2 チャバネアオカメムシ成虫



図1 チャバネアオカメムシの生活史